

科目名		授業形態	担当教員名	
医用治療機器学演習		演習	阪本 壮志・飛来 直道・南 正雄	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
60 時間（2 単位）		30 回	3 年次	前期
授業の目的・概要				
講義により得た知識を生かし、実習を通して正しい操作法や保守点検方法を指導する。				
授業の到達目標				
各種医療機器の原理、特徴を理解し、安全な使用方法と危険性を理解する。また、透析治療における性能評価について正しく理解する。				
授業計画				
回	内容		回	内容
1	オリエンテーション(医用治療機器)		16	オリエンテーション(透析治療)
2	オリエンテーション(医用治療機器)		17	透析装置の取扱い
3	電気メスを用いた演習		18	透析装置の取扱い
4	パルスオキシメータを用いた演習		19	透析装置の取扱い
5	電気メス演習の解析		20	透析装置の取扱い
6	パルスオキシメータ演習の解析		21	クレアチニンクリアランス演習
7	除細動器を用いた演習		22	クレアチニンクリアランス演習
8	除細動器を用いた演習		23	クレアチニンクリアランス演習の解析
9	除細動器演習の解析		24	クレアチニンクリアランス演習の解析
10	除細動器演習の解析		25	持続的血液浄化療法演習
11	分光光度計の取扱い		26	持続的血液浄化療法演習
12	マイクロピペットの取扱い		27	持続的血液浄化療法演習の解析
13	ガラス器具の取扱い		28	持続的血液浄化療法演習の解析
14	検量線の分析方法		29	まとめ
15	オリエンテーション(透析治療)		30	まとめ
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート	60%			
小テスト	20%			
平常点	20%	演習への取組具合を評価する。		
その他				
自由記載	すべての演習に参加し、すべてのレポートを提出していることが成績評価の前提となる。			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				